

Ⅵ プランの実現に向けて

1. プランの実現に向けた姿勢

戸塚区の将来のまちの姿を実現するためには、まちづくりの具体的な取組を推進していくことが重要です。そのためには、区民・事業者・行政が各々の役割と分担の中で連携、協調し取り組んでいかなければなりません。特に、今後は多様化している区民ニーズを十分に把握し、施策を進めていくことが求められています。

■ 一人ひとりが認識し、考え、行動する

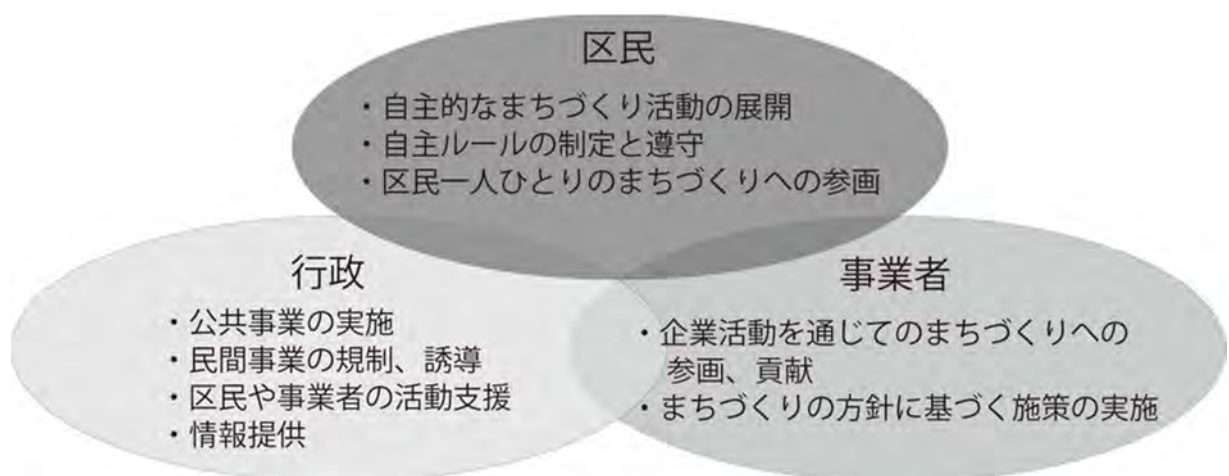
まちづくりを進めるにあたっては、区民の皆様自らがその問題を認識し、行動しなければなりません。例えば、交通問題では、道路整備を進めるだけではなく、マイカーの利用を控える、違法駐車をしないなどの道路の使い方により解決につながることもあります。また、環境問題では、地球温暖化対策への取組の一つとして、家庭でのエネルギー消費量の削減などがあります。自分一人の力では限界がありますが、私たち一人ひとりが自分のこととして認識し、考え、行動していくことが第一歩です。

■ 区民・事業者・行政がともに考える

区民・事業者・行政がともに次代を見据えた視点を持ちながら、まちづくりを考えていく必要があります。

2. まちづくりの主体と役割

このプランを実現していくにあたっては、まちづくりの主体である区民や事業者、行政が相互に連携をはかりながら、それぞれが主体的に役割を果たしていくことが大切です。主体ごとの主な役割は、下図の通りです。



区役所の役割として、次のように考えます。

【地域に根ざした計画づくり】

このプランは、戸塚区の将来像を描くものであり、各地区の詳細なまちづくりについては言及していません。今後、地区の方々により、各地区の実情に応じてきめ細かなプランを作る場合には、区民主体のまちづくりを支援していきます。

【わかりやすいまちづくり情報の充実】

まちづくりに関する情報は多岐にわたっています。そこで、区民の皆様が、身近なまちづくりの様々な情報を入手でき、また、意見・提案等を行うことができるよう、まちづくりに関する情報提供や相談・調整を行っていきます。

【まちづくり施策のコーディネート】

まちづくりは、多くの組織との関わりによって進められるため、多様な施策を総合的に組み合わせ、施策をコーディネートし、より効率的・効果的に進めます。

3. プランの在り方と見直し

このプランは、まちづくりの方向性を示したものであり、計画期間が長期に渡ることから、上位計画の改定が行われた際等には、社会状況の変化、まちづくりに大きな影響を与える事業の進展や区民意識の変化等も踏まえ、本プランの記載内容等を点検し、必要な修正や改定を行います。